

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100459		
法人名	有限会社 ライフ・シップ		
事業所名	嘉瀬紀水苑		
所在地	佐賀市嘉瀬町大字荻野698番地		
自己評価作成日	平成25年 2月16日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成25年3月27日	外部評価確定日	平成25年4月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>嘉瀬紀水苑の理念（家庭的な雰囲気環境と地域の方との交流の中で、「楽しく」「なごやか」「すこやか」をモットーに潤いのある生活、又、安心して、その人らしく暮らして頂けるように支えていきます。）ご利用者の笑顔が多く見えるように暮らして頂き、日課のラジオ体操、健口体操、上・下半身運動をスタッフと一緒に行って心身共、健康維持が出来るように支援しています。又、天候の良い日には、近隣の散歩、公園めぐり等で季節と一緒に感じています。地域の方とのふれあいとして「第8回おしる粉会」を予定しています。中学生の体験学習や地域の子供達や地域の高齢者の方とのふれあいを大切に行きたいと思っています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>苑の開設当初から24時間利用者に寄り添い、尊厳を大事にしながら、家庭的な雰囲気の中にも人間味あふれた介護をしたいという代表者の思いが今もあふれている事業所である。その思いを表したのが、全職員で検討して作られた理念である。職員はごく自然に利用者と接しながら毎日の支援にあたっている。家庭的な温かい雰囲気の中で、利用者を年長者として敬いながらの支援である。常にサービスの質の向上を求め、質の高いケアを実践している。また、開設時から地域と共に歩んできた事業所でもある。地域の住民が遊びに見えたり、利用者の散歩時に言葉を交わしながら休息場所を提供したり、小中学生が自分の意思で遊びに訪れている。苑の周りの田園風景の移り変わりや、秋のバルーンを目の前で見る事が出来る。また、近くにある森林公園で時を過ごせるなど、環境にも恵まれている。防災関係も地域と一体になりながら、万に備えている。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスとして、住み慣れた地域でその人らしく生活して頂けるように、全職員で事業所理念を見直し、作り、日々の業務の中で共有して実践につなげている。	事業所開設当時から地域に根ざしたケアを目指している。理念の具体的な姿を日々の支援や定例の会議の際に検討している。理念は事務室や居間にも掲げられており、常に職員は、意識し、共有しながらの支援である。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	ご利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるように、地域交流「おしるこ会」、「クリスマス会」、「ふれあい会」、体験学習や地域の方による余興なども来て頂いている。また子供110番も設置している。	地元の自治会にも加入し、清掃作業や地域行事、子ども110番など地域に溶け込んでいる。地域の小学生が遊びに訪れたり、中学生が職場体験の後、折り鶴を届けたり、近所の方が遊びに見えたりしている。恒例の「おしるこ会」は地域住民が楽しみにしている等、地域との交流が出来ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実践を通じて認知症の人の理解や支援の方法を地域の方々に、事業所で出来る力を活かせるように、努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2カ月に1回開催している。自己評価、外部評価の報告を行い、意見要望等をサービス向上に活かしている。又、防災や事故予防等も協力して頂き、話し合いを行っている。	運営推進会議は年間6回の開催であるが、それぞれにテーマを設けて意義のある会議となっている。テーマによって地元消防団や近隣の住民も出席している。会議の報告書もきちんとまとめられており、充実した会議内容とその後の取り組みに努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には、毎回参加して頂いている。又、利用者の紹介もして頂いている。苑だよりを回覧して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを伝えながら、協力関係が保てるように、取り組んでいる。市の福祉事務所の方にも連絡を取り合っている。	地域包括支援センターと苑の実情や課題等の共有だけでなく、行政の福祉課担当者とも、生活保護者の医療費の件、最新の情報のやりとり、利用者の紹介等多くの面で協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束をしないケアを理解して、勉強会を行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠は夜間の戸締りのみです。	身体拘束ゼロ宣言について利用者や家族にも説明し、身体拘束の無いケアを実践している。計画的に外部研修会や苑での勉強会に参加し、心の拘束も無いようにしている。玄関、非常口、居室等にも施錠はない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が高齢者虐待防止法について勉強会や講義等で学ぶ機会を設けている。言葉掛けや入浴時の全身観察等、虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	権利擁護に関する制度の理解を学ぶ機会を設けて、必要な方に活用して頂けるように、支援します。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者やご家族との契約時、解約又は改定等の際は十分な説明を行い理解、納得して頂けるように、不安や疑問点も尋ねている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議でご家族より御意見ご要望があり環境整備を整えました。どんなことでも言って貰えるように雰囲気づくりして、運営に反映させて頂いている。	家族の面会時等における職員の笑顔での話しかけは、家族に小さな意見や要望でも言いやすい気持ちにさせている。出された意見等は、職員全員で検討し、運営に反映させている。室温の適度な調整、利用料の相談、病院受診時の職員の同行等改善された例もある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を聞くミーティングを設けたり、日頃より、思っている事等が言える雰囲気作りにより、心がけている。又、反映させてもらっている。	管理者は、会議だけではなく日頃から職員の意見を聞くように心がけており、運営やケアに対する提案を職員全員で検討している。歩行器と車椅子利用に関する事、利用者の受診、勤務体制など多くの事例がある。今回の自己評価も全員で話し合い、サービスの質の向上に結び付けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。勤務体制にもゆとりが持てるように設けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	働きながら学びの場を多くして勉強会や外部研修に参加してより良いケアを学び、知識を共有している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり勉強会や相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用される前に、ご本人が困っている事、不安な事、要望等を傾聴し、安心して利用して頂けるように関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が困っておられること、不安な事、要望等を傾聴し、安心して貰えるように関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応として、ご本人とご家族等が必要としている支援を見極めて、苑で出来る支援、出来ない支援、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に過ごし、共に生活する中で、一緒に笑い、歌いながら暮らしている。ご利用者の笑顔で癒されています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の訪問があって、日々の暮らしぶりを共に共有し、ご本人とご家族の絆を大切にしながら、ご本人を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまで大切にしてこられた場所や顔馴染みの方、近隣の方、民生員の方等の関係が途切れないように支援に努めている。	散歩の時、近所の方からの声かけがあったり、休憩場所提供の誘いがあったりしている。買い物や近くの公園にも出かけている。かつての知人からの電話や訪問、絵手紙は利用者の楽しみでもある。馴染みの美容室へ行く方もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係を全職員が把握していて共有し、孤立されないようにご利用者同士の関わり合いも持たれていて、また、支え合えるような支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了していても、これまでの関係を断ち切らないように、お見舞いやその後の経過等を伺いながら継続的に関わりを持てるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて、全職員で情報を共有してご本人の意向に出来るだけ沿うように努めている。	スタッフが利用者一人ひとりに寄り添い、細かいところまでよく気を配っての支援であり、ほんの少しの表情、つぶやきからでも思いや意向、状況を汲み取っている。各人の情報は専用のノートに記録するなどして、職員全員で共有し、支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報収集し、生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の暮らしの現状を把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	事業所用方式アセスメント表を用いてご本人がより良く暮らすための課題とケアの在り方について、ご本人、ご家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成しています。	本人や家族の意向がアセスメントされ、それぞれ個性のある実行可能な具体的な計画が作成されている。職員全員が参加して、あらゆる方面から検討した計画でもある。定期的に、場合によっては随時、モニタリングや評価が行われ、家族の参加も得ての会議が開かれている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりの日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別に記録記入し、職員間で情報を共有しながら実践やモニタリングし介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況、その時々生まれるニーズや要望に応じて食事や買い物等、柔軟に対応し、支援やサービスに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握して、近隣の小学生とのふれあいや、中学生の福祉体験学習や地域の消防団団員の方の訪問等、ご本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しめるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医が往診に来て頂いたり、又、受診されたりと事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医での受診である。協力医療機関からは、毎月定例の往診があっており、24時間いつでも連絡、相談が出来る体制である。歯科は訪問歯科を利用している。診療科目によっては家族の付き添いをお願いしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づき、身体状態や経過を職場の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々のご利用者が適切な受診や往診、看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院された時、安心して治療出来るように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて協力病院やかかりつけ医と連絡や情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用時に、重度化した場合や終末期の看取りの指針について説明し同意を得ている。ご利用者が日々より良く暮らして頂けるように事業所で出来る事、出来ない事を見極めて、十分に説明してかかりつけ医と共にチームで支援に取り組んでいる。	指針がきちんと用意されており、入居にあたって家族に説明し、同意を得ている。入居後も状況の変化に応じて主治医を交えて家族と話し合い、意向の確認が行われている。これまで看取りの事例はないが、それに備えての勉強や準備が出来ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応・事故発生時対応のマニュアルの判断基準を作成している。勉強会で知識、技術の習得に努めている。また、事故発生時にも対応出来るように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震、水害等の災害時に備えて昼間想定、夜想定で避難訓練を実施している。また、消防署へ通報訓練や避難訓練にも立ち会ってもらいました。地域の方や消防団の方にも立ち会って頂いた。	火災だけでなく、水害や台風、停電に備えての対策が練られている。避難訓練は地元消防団や近隣住民の協力を得て実施されている。地域の防災ステーションと連絡を取り、避難方法や避難場所の確認もしている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応、記録等をしている。	尊厳の遵守や人権尊重は運営理念の基底にあり、あらゆる支援の場面でそのことが伺える。接遇も含めた勉強会も開かれ、日々の支援に活かされている。職員の育成も兼ねて、ケアの中で管理者が指導することもある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の要望、希望を表せる雰囲気づくりにして自分で決めたり、納得されながら暮らされている。押しつけや強制の支援とならないようしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れは基本的には決まっているが、一人ひとりの体調状態、気分等に配慮しながらご本人のペースを大切に、自発的な意向を尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい理美容は訪問にて支援して頂いている。ご利用者の方も気に入っておられる。またご本人が化粧、口紅、マニキュア等希望されれば準備している。おしゃれが出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや形態等を配慮し、ご利用者の方と一緒に料理の下ごしらえ、準備して、一緒に食事している。後片付けも一緒にしている。	職員も同じ食事をいただきながらさりげなく利用者を見守っている。利用者一人ひとりにあった食事形態で、食事介助は同じ目の高さで話しかけながらゆっくりとしている。高齢者向けの野菜を中心とした柔らかい食事内容で、献立は管理栄養士の指導を受けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取形態、摂取量をその方に応じて提供している。水分量も食事以外で1日1000CCを目標に飲用して頂く為に、品を変えて提供している。又、栄養バランスが上手く取れる献立表を活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に一人ひとりの口腔状態に応じて歯磨き、義歯洗浄、嗽等を言葉掛けや誘導し、介助したり、見守りしている。就寝前に義歯をお預かりして義歯洗浄剤や水に浸けて支援している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、なるべくトイレでの排泄を支援している。排泄の自立に向けてなるべく布パンツを使用している。ご本人に出来る所までして頂き、出来ないところをケアしている。	各人の排泄習慣や排泄パターンを把握し、トイレへの誘導やポータブルトイレの使用で排泄の自立に向けた支援に努めている。利用者のトイレの意思表示にさりげく支援している場面も見受けられた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	全職員が便秘が及ぼす影響を理解して、食事には野菜や食物繊維を多く含む食品を提供し、排便・排尿チェック表を用いて記録している。又、散歩や体操、運動を取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しんで頂けるようにし、プライバシーを尊重し入浴は一人ずつ、ゆっくり入っている。見守りや介助は個々に応じた入浴の支援をしている。	一人ひとりの希望やそれまでの生活習慣に合わせた入浴支援である。以前は夜間の入浴希望にも応じていたが、現在は希望がないので、午前中や午後の希望時間帯にゆっくりと入浴を楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、休憩、睡眠を取って頂いている。安心して気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの病気と服薬されている薬の把握に努めて、薬の説明書を個別に管理している。薬を手渡しで飲める方、介助で飲める方等、服薬確認を行っている。症状の変化がある時には、かかりつけ医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと等で気分転換の支援をしている。又、洗濯干しやタタミ近隣の散歩や地域の方の協力で余興や訪問等、季節行事を取り入れて季節を感じて頂いている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の散歩や公園めぐり等に、戸外に出掛けて季節の花や田園風景を眺めたりして、支援に努めている。又、ご本人の希望を把握してスーパー等で買い物を楽しまれたりされた。	利用者や家族からは外出支援の希望も多く、苑ではそれに十分に答えている。散歩や買い物だけでなく、玄関から四季の移り変わりが実感できる田園風景を眺めたり、目の前に見えるバルーンを楽しんでいる。家族の協力も得ながらひまわり見学、こいのぼり見学、初詣等の外出もある。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で管理出来る範囲の所持金。ご家族の要望に合わせた支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の要望、希望があればいつでも出来るように支援している。又、ご家族より電話があった時は、ご本人と楽しくお話しされている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者と一緒に作成した季節の貼り絵や季節の花等を居間に飾り季節感を採り入れている。又、車音や暴風音の防止に2重サッシにしている。天井窓より明るい光を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	高い天窓からの自然光や二重サッシによる騒音防止で明るくて快適な室内環境である。室温や湿度も適度に保たれている。トイレ、浴室も安全に配慮し、ゆったりと用をたせる様になっている。台所からの家庭的な音や匂いは五感を刺激する。玄関前の花は季節を十分に感じさせてくれる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方同士で思い思いに過ごせるソファや椅子がある。又、独りになれたりされる居場所づくりの工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、ご本人やご家族と相談して、使い慣れた物、タンス、毛布、写真、人形等持参して頂き、好みの物があってご本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前の使い慣れた品物を持参してもらうように本人や家族にお願いをしている。筆筒、椅子、時計、ぬいぐるみ、愛着のある人形、その他色々な物で、それぞれ個性ある居室になっている。また、清掃も行き届き清潔感ある居室である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの力を活かせるように手すり、引き戸、カーテン、スイッチの位置、時計、歴、等安全な環境づくりにして、できるだけ自立した生活が送れるように工夫をしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない